

## 令和4年度第2回太宰府市介護保険運営協議会 議事録

日時：令和4年10月27日（木）19:00～19:56

場所：市役所3階 庁議室

### 【出席】

（委員）渡邊会長・石井委員・松田委員・浦山委員  
江口委員・後藤委員

（事務局）行武理事・友田統括・立石課長・柳谷係長  
大山係長・渕上係長・糸山係長・垣内

### 【欠席】

（委員）鹿子生委員・伊藤委員・佐伯委員

### 【傍聴人】1名

今回の運営協議会でも、引き続き新型コロナウイルス感染症対策の一環として、時間短縮のため、議題に沿って委員からの事前質問について回答を行い、質問がなかった資料については事務局から簡単に説明を行いました。

### 議題1 令和4年度地域密着型サービス事業者公募結果について

第8期高齢者支援計画に基づいて、地域密着型事業者の公募と選考を行った結果、認知症対応型共同生活介護は、株式会社悠楽に決定し、看護小規模多機能型居宅介護については応募者がなく、来年度も引き続き公募を行う旨、報告しました。

### 議題2 高齢者支援計画策定支援業務委託契約について

高齢者支援計画策定支援業務委託契約について、株式会社くまもと健康支援研究所と締結した旨、報告しました。

### 議題3 在宅介護実態調査及び介護予防・日常生活圏域ニーズ調査（案）について

在宅介護実態調査及び介護予防・日常生活圏域ニーズ調査の案を提示し、前回調査との変更点等を説明し、意見を求めました。

さらに、計画策定にあたって実施するその他の取り組み（在宅生活改善調査、居所変更実態調査、介護人材実態調査及び住民・関係機関とのワークショップ）について説明し、意見を求めました。

### (在宅介護実態調査)

【質問】在宅調査の配布数は1,000で、分析に必要なサンプル数を確保することは可能なのでしょうか。

【回答】国の指針で、人口10万人未満の自治体は、600サンプルを確保するよう指針が出ているので、それを参考にしています。

【質問】つまり、60%の回収が見込めるという理解でよろしいでしょうか。

【回答】まったく同じ調査の実績は、前回が認定調査員による訪問、今回が郵送配布回収のため、参考になりませんが、前回調査では、400サンプルを基に分析をしています。

【質問】今回、郵送ですよね。郵送だともっと回収率が下がると思いますが。もし600件集まらなかった場合の追加調査などは予定しているのでしょうか。

【回答】前回郵送で行ったニーズ調査の回収率が60%を超えていたことや、市で行っている高齢者を対象とした別のアンケート調査でも郵送で6割～7割返ってきていましたので、1000件で大丈夫だろうということで設定しています。

【意見】：かなり優秀ですね。それだけ返送の目途があるということでしたら、安心しました。

【質問】自宅にもし調査が回ってきたとしたら、うちにある3名の高齢者のうち、1人は絶対調査に協力できない、もう1人は調査協力をいやがるので、3名中1名しか回答しないと思うと、全体の回答率も33%くらいになるのではないかと感じました。また、回答する1名も介護の必要性を感じていないので、果たして求められている回答ができるのか、という疑問がわきました。

【意見】今回の調査は、高齢者の方自らが記入できなくても、介護をしているご家族が回答することもできます。介護の困りごとを抱えている方こそ、返送してくれるかもしれません。

【意見】調査実施は、2月までとのことだったので、その段階でサンプルが少ないとときは追加調査をするなど、臨機応変な対応をお願いします。

## (ニーズ調査)

【意見】在宅調査の問7、ニーズ調査の問1の2-②、問7の6に関して、抱えている疾患や、介護等が必要になった原因、治療中または後遺症のある疾病的選択肢に「歯科疾患」を加えてはいかがでしょうか。

【回答】この3つの質問が、必須項目やオプション項目のため、選択肢を変更することができませんが、口腔ケアの大切さというところでは、どこかに代替案として加えたいと思いました。そこで、ニーズ調査の問9の項番3の介護予防事業のところは市の独自項目でもあり、口腔フレイルの質問と関連づけられるため、管理栄養士と相談し「しゃべりにくい、声がでにくい（かれる）ことがある」「食べこぼすことが多くなった」という2つの選択肢を加えてはどうかとなりましたので、ご提案したいと思います。

【質問】この調査は、次期計画策定のための基礎調査という位置づけだと思いますが、ニーズ調査の問2の8-②をオプションだからという理由で削除するのはいかがかと考えます。高齢者にとって、足の確保は重要な課題であり、調査からこの設問を削除した場合、本計画でどういうデータを基に、どういった施策を検討するのか、現時点の事務局の考え方をお聞かせください。

【回答】他市町村の調査の実態を見ると、タクシーやバスというのは利用していそうなんですが、現実として回答が非常に少ない、というのが実情です。

まず、本調査は、一般高齢者と要支援者を対象としているものであるため、本設問の回答の傾向としては、選択肢④自分で運転する、または、選択肢⑤人が運転する自家用車に回答が集中する傾向があります。

一方で、⑥路線バス、⑦電車、⑫タクシーなどの公共交通を利用するとする回答は、非常に限定的になる傾向があります。

また、交通施策の検討においては、①市全体の交通施策と、②福祉的な交通弱者対策の両面から検討する必要がありますが、自家用車を使う方が大多数で、公共交通の利用が少ないという傾向は、施策検討に使いにくいデータとなってしまうことが多いです。

という理由から、設問の削除を提案しています。

【意見】事務局の説明で設問削除の意図が理解できたため、承認します。

(その他の取り組み)

【質問】 確認ですが、この調査は市内全部の事業所に対して行うのですか。

【回答】 はい、その予定です。

【閉会】。